



くわで泥を掘る広島市立大の  
山口准教授と学生

# ホシモロコ養殖池整備

## 広島市立大生 美郷の住民と交流

広島市立大生たちが3、4の両日、美郷町比之宮地区に住民と希少淡水魚ホシモロコの養殖池を造った。産業おこしと若者との交流を目指す同地区の取り組み第1弾。今後稚魚の放流や水揚げなどの節目に地域を訪れてもらう。

国際学部の学生、教員計30人が訪問。6人が同町宮内の休耕田に

池を整備した。泥に足を取られながら、くわを手にとり、あせを固めた。1年小野江里子さん(18)は「また美郷に来て野菜の収穫も体験したい」。学生を手伝った近くの農業桐場伸昭さん(56)は「気軽に遊びに来てもらえるような交流したい」と目を細めた。

比之宮で地域おこしを進める町嘱託職員2

人が8月、広島市佐伯区のホシモロコ養殖池を見学。偶然同池に来ていた同学部の山口光明准教授(健康心理学)たちに美郷町訪問を提案し、実現した。

ほかの24人は、ワサビ田造りや神楽の準備、農業体験などをした。山口准教授は「学生が地域ブランドづくりや起業などを体験して学べる場。今後も交